

2022年度 愛知学泉短期大学シラバス

| シラバス番号 | 科目名 | 担当者名 | 実務経験のある教員による授業科目 | 基礎・専門別 | 単位数 | 選択・必修別 | 開講年次・時期 |
|--|--|--|------------------|---|-----|--------|---------|
| 52511 | 保育実習指導 I Childcare Internship: Guidance I | 太田美鈴 児玉珠美 | ✓ | 共通 | 1 | 選択 | 1後期 |
| 科目の概要 | | | | | | | |
| 本科目は保育実習 I に向けての心構えや具体的な知識を含めたオリエンテーション、保育現場で求められる実技指導、実習園へ行く前の事前指導と実習中の巡回教員からの指導、実習後の個別指導などから構成されている。進級、保育資格取得の必須科目であり、保育士に必要な専門的知識・技能を獲得し現場で活用、応用できるように学ぶことを目的とする。★ 保育所での保育士として実務経験があり、幼稚園教育要領や保育所保育指針に述べられている保育内容についてより実践的な講義を行う。 | | | | | | | |
| 学修内容 | | | | 到達目標 | | | |
| ① 実習の意義と目的を学ぶ。 ② 実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法等について具体的に学び、教材を作成する。 ③ 実習の事後指導を通して実習の総括と自己評価を行い、新たな課題を明確にする。 | | | | ① 実習の意義と目的を理解できるようにする。 ② 実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法等について具体的に学び、教材を作成することができる。 ③ 実習の事後指導を通して実習の総括と自己評価を行い、新たな課題を明確にする。 | | | |
| 学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 | | 学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例 | | | | | |
| 前に踏み出す力 | 主体性 | 保育実習に向けて実習内容を理解し、積極的に保育教材作成に取り組むことができる。 | | | | | |
| | 働きかけ力 | | | | | | |
| | 実行力 | レポートや書類に求められた内容を記載し、期限内に提出できる。 | | | | | |
| 考え抜く力 | 課題発見力 | 保育実習に向けて、自らの課題を見出すことができる。 | | | | | |
| | 計画力 | | | | | | |
| | 創造力 | 保育実習に向けて、自ら工夫した教材を作成することができる。 | | | | | |
| チームで働く力 | 発信力 | 授業中の挨拶や発言、実習先との口頭での対応がしっかりとできる。 | | | | | |
| | 傾聴力 | 発言者の話に集中し、聴くことができる。 | | | | | |
| | 柔軟性 | | | | | | |
| | 状況把握力 | | | | | | |
| | 規律性 | 遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 | | | | | |
| | ストレスコントロール力 | | | | | | |
| テキスト及び参考文献 | | | | | | | |
| テキスト：「学外実習の手引き」 本学幼児教育学科作成 参考文献： 厚生労働省「保育所保育指針解説書」フレーベル館（320円）、内閣府・文部科学省・厚生労働省「幼保連携型認定子ども園教育・保育要領解説」フレーベル館（320円）、「教育・保育実習安心ガイド」ひかりのくに（1100円）、「教育・保育実習実技ガイド」ひかりのくに（1000円） | | | | | | | |
| 他科目との関連、資格との関連 | | | | | | | |
| 他科目との関連：教育実習 I、教育実習指導 I、保育実習施設実習、各種実習事前事後指導 資格との関連：保育士 准学校心理士 | | | | | | | |
| 学修上の助言 | | | | 受講生とのルール | | | |
| ・講義や演習などで学んだ内容を毎回確認しておくことで、理解が深まっていく。 ・手遊びや折り紙、絵本等保育技術に関心を持つことが実践力に繋がっていく。 | | | | ・提出物などの期限を厳守すること。 ・日頃より保育士としてふさわしい態度を心がけること。 ・学外実習に向けての内容であるため、積極的に参加すること。 | | | |

【評価方法】

| 評価対象 | 評価方法 | | 評価の割合 | 到達目標 | 各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント | | |
|-----------------------|--------------|--------------------|-------|------|---------------------------------|---|--|
| 学修成果 | 学期末試験 | 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験 | 0 | ① | | | |
| | | | | ② | | | |
| | | | | ③ | | | |
| | | | | | | | |
| | 平常評価 | 小テスト | | 0 | ① | | |
| | | | | | ② | | |
| | | | | | ③ | | |
| | | | | | | | |
| | | レポート | | 60 | ① | ✓ | |
| | | | | | ② | ✓ | |
| | | | | | ③ | ✓ | |
| | | | | | | | |
| 成果発表（プレゼンテーション・作品制作等） | | | 30 | ① | ✓ | | |
| | | | | ② | ✓ | | |
| | | | | ③ | ✓ | | |
| | | | | | | | |
| 学修行動 | 社会人基礎力（学修態度） | 10 | ① | ✓ | | | |
| | | | ② | ✓ | | | |
| | | | ③ | ✓ | | | |
| | | | | | | | |
| 総合評価割合 | | 100 | | | | | |

【到達目標の基準】

| 到達レベルS(秀)及びA(優)の基準 | 到達レベルB(良)及びC(可)の基準 |
|---|---|
| レポート、成果発表、作品評価、社会人基礎力の総合計点数90%以上S（秀）、89～80%A（優）とする。 | レポート、成果発表、作品評価、社会人基礎力の総合計点数79%～70%B（良）、69%～60%（可）とする。 |

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|---|---|--|--|---|-------|--|
| 1 | ・オリエンテーション 保育所保育指針を通して、保育所の役割について理解する。 ・DVD視聴を通して、保育実習の心構えとマナーについて学ぶ。 (太田・児玉) | 講義 DVD視聴 | 保育所の役割について理解することができる。 ・保育所実習の意義と目的について理解することができる。 ・保育実習の心構えとマナーについて理解することができる。 | (予習) 学外実習の手引きを読んでおく。 (復習) DVDの視聴内容についてレポートを書く。 | 45 | 傾聴力 規律性 |
| 2 | ・DVDレポートの提出 ・保育所実習Ⅰの意義と目的について、テキストを通して理解する。 ・保育実習のDVD視聴を通して実習の概要を知る。 ・事前の健康状況確認の重要性を学ぶ。(太田・児玉) | 演習 DVD視聴 | ・保育所実習の意義と目的について理解することができる。 ・DVD視聴を通して実習の概要を理解することができる。 ・事前の健康状況確認の重要性を理解することができる。 | (予習) テキストの保育所実習Ⅰの意義等を読む。 (復習) 保育実習Ⅰの概要をまとめる。 | 45 | 主体性 傾聴力 |
| 3 | ・保育実習概要に関する質疑応答 ・実習の目標の書き方(下書き)を学び、記載し、提出する。 ・発表された実習園について、ウェブサイト等を活用し、情報収集する。(児玉・太田) | 演習 予質疑応答による 復習フィードバック | ・保育実習記録の概要を理解することができる。 ・実習の目標の書き方を理解し、書くことができる。 | (予習) 幼稚園実習の目標を振り返り、次段階の課題を明らかにしておく。 (復習) 実習の目標を完成させる。 | 45 | 主体性 課題発見力 |
| 4 | ・保育実習教材作成 パネルシアターボードを制作する。 ・パネルシアターボードを使った遊びをグループで意見交換する。(太田・児玉) | 演習 グループ討議 | パネルシアターボードを制作することができる。 | (予習) パネルシアターボードの作成方法について確認しておく。 (復習) パネルシアターボードを使った自己紹介の方法を決定しておく。 | 45 | 主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性 |
| 5 | ・添削された実習の目標を基に、下書きを書き直す。 ・保育実習記録ノート の書き方を学び、実際に練習用に記入する。 ・疑問点を質問する。 (太田・児玉) | 演習 レポート指導のフィードバック レポート作成 質疑応答 | ・実習の目標(下書き)を提出することができる。 ・保育実習記録ノートの書き方を理解することができる。 | (予習) 実習の目標を提出できるように内容確認する。 (復習) 保育実習記録練習用を完成させる。 | 45 | 主体性 実行力 課題発見力 規律性 |
| 6 | ・保育実習記録練習用を提出する。 ・実習必要書類記入 ・疑問点を質問する。 (児玉・太田) | 演習 レポート作成 質疑応答 | ・保育実習記録ノートを完成させ、提出することができる。 ・実習必要書類に記入することができる。 | (予習) 保育実習記録練習用を提出できるように、内容確認する。 (復習) 実習必要書類 | 45 | 実行力 傾聴力 |
| 7 | ・部分実習指導案の書き方を学び、作成する。 ・疑問点を質問する。 (太田・児玉) | 演習 レポート作成 質疑応答 | 部分実習指導案の書き方を理解し、作成することができる。 | (予習) 部分実習の内容を決めておく。 (復習) 部分実習指導案の書き方を復習する。 | 45 | 実行力 傾聴力 |
| 8 | ・添削された実習記録練習用を書き直し、提出する。 (太田・児玉) | 演習 レポート指導のフィードバック レポート作成 | 添削内容を反映させて実習記録を書き直し、提出することができる。 | (予習) 実習記録の書き方を再確認する。 (復習) 実習記録の書き方で不十分だった点について確認する。 | 45 | 主体性 課題発見力 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|----|--|------------------------------|---|---|-------|--|
| 9 | ・現地オリエンテーションについて、電話のかけ方・訪問の留意点・挨拶の仕方・報告書の記入方法を学ぶ。 ・学生相互に電話対応を模擬練習する。(児玉・太田) | 演習 学生相互の発表 | ・現地オリエンテーションについて、電話のかけ方・訪問の留意点・挨拶の仕方・報告書の記入方法について理解することができる。 ・実習園との電話対応ができる。 | (予習) 現地オリエンテーションについて、テキストを再読しておく。 (復習) 電話対応等、発話内容をまとめておく。 | 45 | 発信力 傾聴力 規律性 |
| 10 | ・パネルシアターを使った手遊び、歌遊びの作品制作をする。(太田・児玉) | 演習 作品制作ワーク | パネルシアターを使った作品制作をすることができる。 | (予習) 手遊び、歌遊びの制作物等を考えておく。 (復習) パネルシアターを使った遊びの練習をする。 | 45 | 実行力 課題発見力 計画力 創造力 |
| 11 | ・パネルシアターを使った遊びの発表をする。 ・学生相互に評価し合う。(太田・児玉) | 演習 成果発表 全体ディスカッション | パネルシアターを使った遊びの発表をすることができる。 | (予習) パネルシアターを使った遊びの練習をする。 (復習) 発表を振り返り、今後の課題を明らかにする。 | 45 | 創造力 発信力 |
| 12 | ・実習中の問題対応等について学ぶ。 ・現地オリエンテーションに向けて、訪問の心構え、対応の仕方等を具体的に行動できるように学生相互にリハーサルをする。(太田・児玉) | 演習 学生相互の発表 | ・実習中の問題対応について理解することができる。 ・現地オリエンテーションに向けて、訪問の心構え、対応の仕方等について具体的に行動できる。 | (予習) 実習中に対応が難しいと予想される場面についてまとめておく。 (復習) 現地オリエンテーションのリハーサルでうまくできなかった内容について練習する。 | 45 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 |
| 13 | ・現地オリエンテーションにおいて指導を受ける。 ・現地オリエンテーション報告書を作成する。(太田・児玉) | 演習 | ・現地オリエンテーションを予定通りに行うことができる。 ・現地オリエンテーション報告書を作成することができる。 | (予習) 発話内容等を確認し、笑顔で応答できるように練習する。 (復習) 現地オリエンテーション報告書を作成する。 | 45 | 主体性 実行力 発信力 規律性 |
| 14 | ・添削された内容及び決定した担当クラスの対象年齢を反映させて、部分実習指導案を完成し提出する。 ・保育実習に向けての準備を確認する。 ・疑問点を質問する。(太田・児玉) | 演習 レポート指導のフィードバック 質疑応答 | ・添削された内容及び、決定した担当クラスの対象年齢を反映させて部分実習指導案を完成させることができる。 ・保育実習に向けて必要なことを確認し、準備を整えることができる。 | (予習) 決定した担当クラスを想定し、部分実習の内容を再検討する。 (復習) 保育実習に向けて必要なことを確認し、準備を整える。 | 45 | 主体性 課題発見力 |
| 15 | ・保育所実習反省会において、実習を振り返り、今後の課題を明らかにする。 ・必要書類等を完成させ、提出する。(全教員) | 演習 グループディスカッション | ・反省会でのグループ報告、ディスカッションを通じての体験の共有し、さらに自己の課題発見をすることができる。 ・必要書類等を完成させ、提出することができる。 | (予習) 反省会での提出書類を完成する。 (復習) 他学生の振り返り内容を参考に、今後の課題を再確認する。 | 45 | 課題発見力 発信力 傾聴力 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2022年度 愛知学泉短期大学シラバス

| シラバス番号 | 科目名 | 担当者名 | 実務経験のある教員による授業科目 | 基礎・専門別 | 単位数 | 選択・必修別 | 開講年次・時期 |
|--|---|---|------------------|---|-----|--------|---------|
| 52512 | 保育実習指導Ⅱ Childcare Internship: Guidance Ⅱ | 児玉珠美 太 田美鈴 | ✓ | 共通 | 1 | 選択 | 2前期 |
| 科目の概要 | | | | | | | |
| 総合的な学びが期待される保育実習Ⅱに向けて、保育所の生活に参加するだけでなく、自らが保育を計画し、実践することができるように、保育士に必要な専門的知識・技術をさらに高めていくことを目的とする。保育実習Ⅰの実践や記録を振り返り、明らかになった課題の解決に向けて、記録、指導計画等の実践的な演習を行う。学びの過程で課題を発見し、習得した知識を活用し、課題解決できる力を身に付ける。★ 保育所での保育士として実務経験があり、保育所保育指針に述べられている保育内容についてより実践的な講義を行う。 | | | | | | | |
| 学修内容 | | | | 到達目標 | | | |
| ① 保育実習Ⅱの意義と目的を学ぶ。 ② 保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について知る。 ③ 実習の事後指導を通して実習の総括と自己評価を行い、課題を明確にする。 | | | | ① 保育実習Ⅱの意義と目的を理解し、説明することができる。 ② 実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法等について具体的に理解し、指導案を作成することができる。 ③ 実習の事後指導を通して実習の総括と自己評価を行い、新たな課題を記述することができる。 | | | |
| 学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 | | 学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例 | | | | | |
| 前に踏み出す力 | 主体性 | 保育実習に向けて実習内容を理解し、積極的に保育教材作成に取り組むことができる。保育実習Ⅰで明らかになった課題に自主的に取り組むことができる。 | | | | | |
| | 働きかけ力 | | | | | | |
| | 実行力 | レポートや書類に求められた内容を記載し、期限内に提出できる。 | | | | | |
| 考え抜く力 | 課題発見力 | 授業で取り組んでいく課程で、新たな課題を明らかにすることができる。 | | | | | |
| | 計画力 | | | | | | |
| | 創造力 | 保育実習に向けて、自ら工夫した保育活動を組み立て、準備することができる。 | | | | | |
| チームで働く力 | 発信力 | 話そうとすることを自分なりにまとめて簡潔に伝えることができる。発表の仕方を工夫して発表することができる。 | | | | | |
| | 傾聴力 | 発言者の話に集中し、聴くことができる。 | | | | | |
| | 柔軟性 | | | | | | |
| | 状況把握力 | | | | | | |
| | 規律性 | 遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。 | | | | | |
| | ストレスコントロール力 | | | | | | |
| テキスト及び参考文献 | | | | | | | |
| テキスト：本学幼児教育学科作成『学外実習の手引き』 参考文献：無藤隆『はじめての幼保連携型認定こども園 教育・保育要領ガイドブック』フレーベル館（1000円） 阿部恵・鈴木みゆき『教育・保育実習安心ガイド』ひかりのくに（1100円）、東山明・名賀三希子『教育・保育実習実技ガイド』ひかりのくに（1000円） | | | | | | | |
| 他科目との関連、資格との関連 | | | | | | | |
| 他科目との関連：教育実習Ⅰ、教育実習指導Ⅰ、保育実習施設実習、各種実習事前事後指導 資格との関連：保育士・レクレーションインストラクター・准学校心理士 | | | | | | | |
| 学修上の助言 | | | | 受講生とのルール | | | |
| ・自らの言動が、常に子どもたちのモデルになっていることを考え、行動すること。 ・他教科で学んだり、様々な情報から得た絵本、季節の歌手遊び等について、発達過程別に分類しておくこと。 | | | | ・提出物などの期限を厳守すること。 ・日頃より保育士としてふさわしい態度を心がけること。 ・欠席や遅刻回数が多い、授業態度が悪い、提出物の期限を守らない等、積極的に受講する姿勢を示さない学生は実習を受けることができないので注意すること。 | | | |

【評価方法】

| 評価対象 | 評価方法 | | 評価の割合 | 到達目標 | 各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント | | |
|-----------------------|--------------|--------------------|-------|------|---------------------------------|---|--|
| 学修成果 | 学期末試験 | 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験 | 0 | ① | | | |
| | | | | ② | | | |
| | | | | ③ | | | |
| | | | | | | | |
| | 平常評価 | 小テスト | | 0 | ① | | |
| | | | | | ② | | |
| | | | | | ③ | | |
| | | | | | | | |
| | | レポート | | 50 | ① | ✓ | |
| | | | | | ② | ✓ | |
| ③ | | | | | ✓ | | |
| | | | | | | | |
| 成果発表（プレゼンテーション・作品制作等） | | | 40 | ① | ✓ | | |
| | | | | ② | ✓ | | |
| | ③ | | | ✓ | | | |
| | | | | | | | |
| 学修行動 | 社会人基礎力（学修態度） | 10 | ① | ✓ | | | |
| | | | ② | ✓ | | | |
| | | | ③ | ✓ | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 総合評価割合 | | | 100 | | | | |

【到達目標の基準】

| 到達レベルS(秀)及びA(優)の基準 | 到達レベルB(良)及びC(可)の基準 |
|--|--|
| ①保育実習Ⅱの意義と目的の理解実習の計画できること②実践、観察、記録、評価の方法等について具体的に理解し、指導案が作成できること。③実習の事後指導を通して実習の総括と自己評価を行い、新たな課題を明確になるようにすること 以上の3つの目標について、レポート、成果発表、作品評価、社会人基礎力の総合計点数90点以上S（秀）、89～80点A（優）とする。 | ①保育実習Ⅱの意義と目的の理解実習の計画できること②実践、観察、記録、評価の方法等について具体的に理解し、指導案が作成できること。③実習の事後指導を通して実習の総括と自己評価を行い、新たな課題を明確になるようにすること 以上の3つの目標について、レポート、成果発表、作品評価、社会人基礎力の総合計点数79点～70点B（良）、69点～60点（可）とする。 |

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|---|---|-------------------------------------|---|---|-------|--------------|
| 1 | ・オリエンテーション 保育所保育指針を通して、保育所の役割について再確認する。学外実習全体と保育実習Ⅱの関連性について学ぶ。 ・書類に必要な情報について知る。(児玉・太田) | 講義 | ・保育所の役割について、保育所の役割について再確認することができる。 ・学外実習の中での保育実習Ⅱの位置付けを理解することができる。 | (予習)学外実習の手引きを読んでおく。 (復習)実習全体の中での保育実習Ⅱの位置付けを再確認する。 | 45 | 傾聴力 規律性 |
| 2 | ・保育実習に必要な書類の書き方を学び、記入する。(連絡表) ・保育実習Ⅱの意義と目的、概要について学ぶ。 ・保育実習Ⅰの振り返りを通して保育実習Ⅱの目標を考え、下書きを完成させる。(児玉・太田) | 演習 質疑応答によるフィードバック | ・保育所実習Ⅱの意義と目的、内容について、理解することができる。 ・保育実習Ⅱの目標を設定し、下書きを完成することができる。 | (予習)必要書類に記載できるよう準備する。 (復習)保育実習Ⅱの目標を完成させ提出する。 | 45 | 主体性 傾聴力 |
| 3 | ・保育実習Ⅱの内容の詳細について学ぶ。 グループディカッションを通して、保育実習Ⅰとの違いについて考える。(児玉・太田) | 演習 グループディカッション 質疑応答によるフィードバック | ・保育実習Ⅱの内容の詳細について理解することができる。 | (予習)保育実習ⅠとⅡの違いについてまとめ、発表できるようにしておく。 (復習)保育実習Ⅱの具体的な内容について確認する。 | 45 | 主体性 課題発見力 |
| 4 | ・保育実習に必要な書類の書き方を学び、記入する。(評価票・出席票・誓約書) ・添削された実習の目標を書き直し、清書を完成させる。 ・疑問点を質問する。(児玉・太田) | 演習 質疑応答によるフィードバック | ・保育実習に必要な書類の書き方を学び、記入することができる。 ・実習の目標(下書き)を提出することができる。 | (予習)保育実習に必要な書類を実習の手引きで確認する。 (復習)実習の目標が未完成の学生は完成させ提出する。 | 45 | 実行力 創造力 |
| 5 | ・保育実習Ⅱの部分実習、責任実習の指導案の書き方について理解する。 ・疑問点を質問する。(太田・児玉) | 演習 質疑応答によるフィードバック | ・保育実習Ⅱの部分実習、責任実習の指導案の書き方について理解することができる。 | (予習)保育実習Ⅰの指導案の添削内容を見直す。 (復習)部分実習指導案の活動内容を決める。 | 45 | 実行力 課題発見力 |
| 6 | ・保育実習Ⅱの部分実習指導案を書く。 ・疑問点を質問する。(太田・児玉) | 演習 質疑応答によるフィードバック | ・保育実習Ⅱの部分実習指導案を作成することができる。 | (予習)部分実習指導案の書き方を確認する。 (復習)部分実習指導案の発表内容をまとめておく。 | 45 | 実行力 傾聴力 |
| 7 | 保育実習Ⅱの部分実習指導案に沿った保育活動をグループ内で実践し、討議する。(太田・児玉) | 演習 グループディスカッション | ・保育実習Ⅱの部分実習指導案に沿った保育活動を行うことができる。 ・他学生からの意見を謙虚に受け止めることができる。 | (予習)部分実習指導案に沿った保育活動を仕方を練習する。 (復習)部分実習指導案について受けた助言を反映させて指導案を修正する。 | 45 | 実行力 傾聴力 |
| 8 | ・部分実習指導案を提出する。 ・保育実習Ⅱの責任実習指導案を書く。 ・疑問点を質問する。(太田・児玉) | 演習 質疑応答によるフィードバック | ・保育実習Ⅱの責任実習指導案を作成することができる。 | (予習)責任実習指導案の内容を確認する。 (復習)実習記録の書き方で不十分だった点について確認する。 | 45 | 主体性 課題発見力 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|----|--|--|--|--|-------|-------------------|
| 9 | 保育実習Ⅱの責任実習指導案の内容をグループ内で発表し、討議する。(児玉・太田) | 演習 グループディスカッション | ・保育実習Ⅱの責任指導案を発表することができる。 ・他学生からの意見を謙虚に受け止めることができる。 | (予習) 責任実習指導案の発表の仕方を練習する。 (復習) 責任実習指導案について受けた助言を反映させて指導案を修正する。 | 45 | 発信力 傾聴力 規律性 |
| 10 | ・責任実習指導案を提出する。 ・現地オリエンテーションに向けて、保育実習Ⅰの振り返りを通して、訪問の心構え、対応の仕方等を再確認し、具体的に行動できるように、学生相互にリハールをする。(児玉・太田) | 演習 質疑応答によるフィードバック | ・現地オリエンテーションに向けて、訪問の心構え、対応の仕方等について具体的に行動できる。 | (予習) 責任実習指導案を完成させる。 (復習) 現地オリエンテーションの準備を確認する。 | 45 | 実行力 創造力 |
| 11 | 現地オリエンテーションにおいて指導を受ける。(児玉・太田) | 演習 | ・現地オリエンテーションを予定通りに行うことができる。 ・現地オリエンテーション報告書を作成することができる。 | (予習) 発話内容等を確認し、笑顔で応答できるように練習する。 (復習) 現地オリエンテーション報告書を完成させる。 | 45 | 創造力 発信力 |
| 12 | ・現地オリエンテーション報告書提出の確認をする。 ・添削された部分実習・責任実習指導案内容を確認し、担当クラスに適した内容を学生相互に検討する。(児玉・太田) | 演習 学生相互の意見交換 全体ディスカッション によるフィードバック | ・現地オリエンテーション報告書を巡回教員に提出することができる。 ・部分実習案・責任実習案について、検討することができる。 | (予習) 現地オリエンテーション報告書を巡回教員に提出する。 (復習) 部分実習指導案の内容を修正する。 | 45 | 主体性 発信力 傾聴力 |
| 13 | ・実習中の問題対応について学ぶ。 ・実習に向けて、準備等の最終確認をする。 ・実習に向けての諸連絡を聞く。(細菌検査の受け渡し等)(児玉・太田) | 演習 全体ディスカッション によるフィードバック | ・実習中の問題対応について理解することができる。 | (予習) 実習に向けての準備等を整える。 (復習) 実習に向けての諸連絡の内容を再確認する。 | 45 | 主体性 実行力 傾聴力 |
| 14 | 保育所実習反省会① 巡回指導教員別の反省会において、実習を振り返り、今後の課題を明らかにする。(全教員) | 演習 グループディスカッション 全体ディスカッション によるフィードバック | ・反省会でのグループ報告、ディスカッションを通じて体験を共有し、さらに自己の課題発見をすることができる。 | (予習) 決定した担当クラスを想定し、部分実習の内容を再検討する。 (復習) 部分実習指導案の内容を再確認する。 | 45 | 主体性 課題発見力 |
| 15 | 保育所実習反省会② テーマ別の反省会において実習の情報を共有し、保育者としての多様な視点を学ぶ。(児玉・太田) | 演習 グループディスカッション 全体ディスカッション によるフィードバック | ・反省会でのグループ報告、ディスカッションを通じて体験を共有し、異なる視点から新たな課題を発見をすることができる。 | (予習) 反省会での提出書類を完成する。 (復習) 他学生の振り返り内容を参考に、今後の課題を再確認する。 | 45 | 課題発見力 発信力 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力